

ESD ってなに？

Education for Sustainable Development

世界規模でみると・・・

社会

食料問題 / 途上国の人口爆発 / 異文化対立 / 人権侵害 / ジェンダー不平等 / 戦争 / 飢饉 / 感染症 (HIV等) / 水問題 など

環境

地球温暖化の進行 / オゾン層の破壊 / 生物多様性の破壊 / 巨大化する自然災害 / 異常気象 など

経済

市場経済による貧困の格差拡大 / 先進国による地球資源の大部分の使用 / 企業責任 など

このままの状態を続けると、
地球はもたない

私たちは今まで
「自然との共生」「公正な社会」「経済的發展」の
バランスを考えていたでしょうか？



日本ではさらに・・・

現代社会では複雑な問題が絡み合っています

例えば・・・

急速な少子高齢化

東日本大震災を
きっかけとした
エネルギー問題

核家族化の進行と
地域コミュニティの
希薄化

深刻な食料自給率の低下

経済格差の拡大

農村・漁村の過疎と
都会の過密

雇用問題

私たちがこの地球に暮らし続け、将来世代が安心して暮らせる社会を実現するためには、
社会のあり方を見直し、持続可能な社会へと変えていく必要があります

「Think Globally Act Locally ～地球規模で考えて、地域で行動しよう～」

地球や日本の危機を、人と自然のつながりや人と人とのつながりを最も実感しやすい、身近な地域からの取り組みで乗り越えていく、つまり、地域のつながりの中から、地域の魅力や課題を見つけて、さまざまな人・組織・分野がつながりあって、学びあい、行動することで、持続可能な社会をつくっていくことが重要

良い未来をつくる担い手(=人)を育てるための教育

それが

ESD